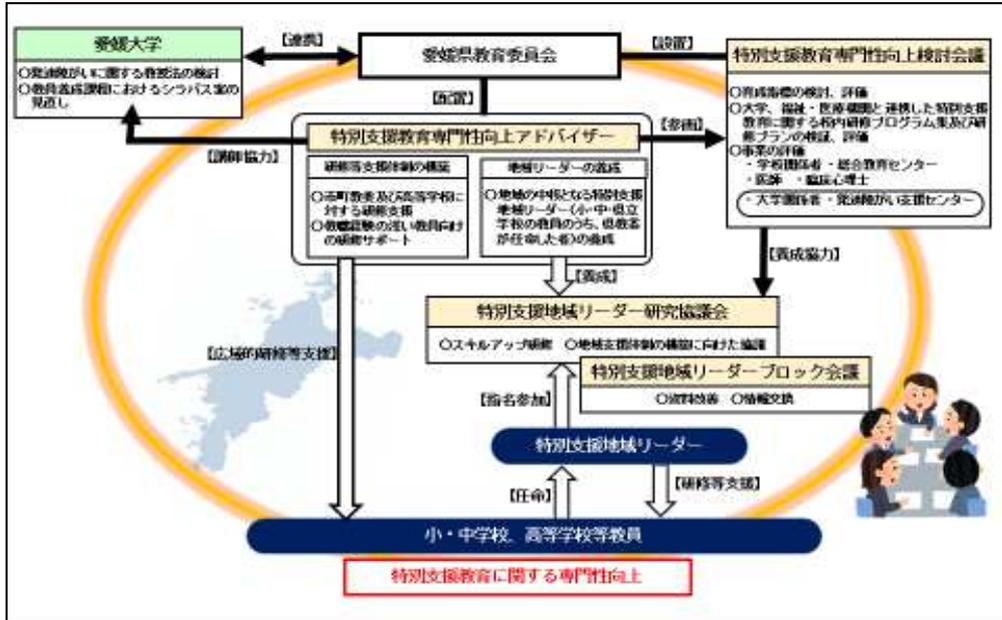


発達障がい等教育支援体制構築事業

全ての学校・学級には、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍している可能性があり、全ての教員が特別支援教育に関する基本的な知識・技能を身に付けておく必要があります。そこで、県教育委員会では、令和2年度からの3年間、本事業に取り組みました。



【事業概念図】

1. 事業の目的

経験の浅い教員を支援するための広域的な体制構築に向けた取組を行います。

- 通常の学級での特別な支援を必要とする児童生徒等への **指導・支援の充実**につなげます。
- **地域の中核となる人材を育成**し、各学校の特別支援教育の専門性の担保につなげます。
- 特別支援学級、通級による指導、通常の学級それぞれにおいて、指導・支援を行う **教員を支えるシステムの構築**につなげます。

2. 事業の主な内容

(1) 特別支援地域リーダーによる校内研修プログラム集及び研修プランの作成

特別支援地域リーダー（以下、地域リーダーという。）は、県内20市町全てから1名以上の小・中学校教員、通級による指導を実施している高等学校教員、各地区の特別支援学校教員で構成しています。

地域リーダーは、特別支援教育専門性向上アドバイザー（以下、アドバイザーという。）からの助言を受けながら、特別支援教育に関する校内研修等に活用できる校内研修プログラム集や、研修テーマに応じて校内研修プログラムを組み合わせた研修プランの作成に取り組みました。

校内研修プログラム集

基礎・基本が分かる！
特別支援教育の基礎的・基本的な内容を中心に紹介しています。各学校・園の実態や状況に応じて選択し、活用してください。

工夫 その1

1項目の研修時間は20分！
短時間の研修にも対応できるように、1項目の研修時間を20分程度に設定しています。ショート研修として活用するのによし、項目を組み合わせるのによし、自由にアレンジして活用してください。

工夫 その2

多様な形態で学べる！
パワーポイント、紙媒体（PDF）、Webサイト（動画等）などの資料を幅広く紹介しています。集合型研修、資料配布による研修、各自で行う研修など、多様な研修形態に対応できます。

工夫 その3

特別支援教育
校内研修プログラム集
研修プラン

研修プラン

時間・準備物等

研修の流れ

※ スライドや図などを使って、具体的に分かりやすく例示

※ 演習や協議、事例検討会等は、その仕方を詳しく記入

**使用する
校内研修プログラム**

**研修後に望む
教師の姿**

教員用 Web サイト「愛媛学びの森」に掲載した外、県下の学校・園に配布し、校内研修等における積極的な活用を推進しています。

(2) 教員の専門性向上のための研修等の充実

ア アドバイザーによる研修等支援

アドバイザーは、学校等からの問合せや相談内容を精査し、事例ごとに対応を検討しながら指導助言、研修支援を行いました。

また、これまで県教育委員会が実施していた研修について、アドバイザーから助言や提案を受け、内容の見直しを図りました。



【アドバイザーによる研修の様子】

イ 地域リーダーによる研修等支援

今年度は、地域リーダーも各地域の学校等で研修支援を行いました。依頼を受けた地域リーダーは、本事業で作成した校内研修プログラム集や研修プランを活用して、ニーズに応じた研修を実施しました。

なお、研修支援に当たる地域リーダーは、適宜、アドバイザーから指導助言を受け、研修支援に取り組みました。



【地域リーダーによる研修の様子】

(3) 愛媛大学教育学部との連携

大学からは、特別支援教育に関する研修内容や方法についての助言や研修講師としての派遣を受けました。

また、アドバイザーを、教員養成課程における特別支援教育に関する講座の講師として派遣しました。アドバイザーは、大学のシラバス案やカリキュラムマップを基に、講座担当者との打合せを密に行い、地域や学校現場に求められている講義内容となるよう工夫しました。

3年間の取組によって、

- 各地域で中核となる地域リーダーの育成、
- 経験の浅い教員に対する研修等支援の充実、
- 各校の校内研修等で活用できる校内研修プログラム集や研修プランの作成等の成果を得ることができました。

今後は、この事業で構築できた地域リーダーの活用や校内研修プログラム集を使った研修支援が充実していくよう、継続して取り組んでいきたいと考えています。

